

# SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 黒川温泉観光旅館協同組合

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		地域で課題を共有し解決していくことで、全体の繁栄をめざす「黒川温泉一旅館」という地域理念を実践している。									8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		黒川温泉の旅館会員が月例で集まる「八日会」にて、法令順守における意識の共有や研修を行っている。																		16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		ただの競争ではなく、「競創と共創」を行動指針とし、お互いを高めあうことで個々の質を高め、共に手をとることで地域繁栄を目指している。												10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		組合の課題を考える部署として、「環境部」や「事業部」などが先導に立ち、社会・環境問題の解決に力を入れている。																		16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		伝統的な地元のお祭りを大事にしており、「やまなみ太鼓」などの伝統文化を保存している。								8.2	8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		施錠セキュリティを管理システムを入れるなど、情報の管理は十分に注意している。																		16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		入湯手形を作成するにあたり、林業を営む方や地元老人会が関り、そして各旅館、消費者に対してメリットがあるといった、入湯手形を基にした循環型経済社会のシステムを構築している。																	16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5					8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●														9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		各旅館で、世代交代が進む中、組合主体で「事業承継セミナー」などを行い、潤滑に事業承継を行えるように支援をしている。										8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5				8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		多様化してきている観光客に対して各種ハラスメントを防止するための案内や注意喚起を行っている。				4.3	5.1				8.5		10.2						16.1			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		業務上危険が伴う作業を行わないようにし、万が一野外作業等で危険が伴う際は必ず注意喚起をして保険に加入している。			3						8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		現代の雇用形態の変化を受け止め、適正な対応をしている。					5.5				8.5		10.2							16.2		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		長時間労働になりがちな雇用形態を脱却すべく、新しい働き方の見直しやそれを実現するための研修を行っている。			3		5.5				8.5		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		地域の豊かな食材を見つける「食の学校」やお客様に対しての室礼をまなぶ「室礼研修」、また次世代リーダーを育成する「黒川塾」を開催している。				4	5.5				8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		生産性を向上させるべく、外部のコンサルタントをいれて業務改善を図っている。			3						8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性もしくは高齢者でも働けるように、短時間労働の雇用に関しての窓口を設置している。				4.4	5.1				8.5		10.2							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		Zoomなどを使い、予定が合わないものや体調の悪いものは、Web参加を促している。			3						8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		生産性を上げるためのDX研修を肥後銀行監修のもと行っている。									8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4					8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 黒川温泉観光旅館協同組合

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		旅館から出る生ゴミ等を集め、資源を有効活用するために、たい肥を作り、コンポスト事業としてたい肥を製造・販売しており、将来はたい肥で野菜を生産し、旅館でお客様に提供することを目標としている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出しており、温泉の熱を利用した空調や熱交換を行うことで、少しでも燃料の使用を減らそうとエネルギーの活用をしている。							7.3							13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてCO2排出量を算出しており、「故郷の自然と暮らしを守る」を黒川温泉地区街づくり協定の基本理念として、約2万本の木を植樹している。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		「脱レジ袋」に伴い、黒川温泉オリジナル風呂敷を開発し、脱プラスチックを推奨した街めぐりの方法を提案している。節電、節水を従業員またはお客様に呼び掛けている。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		感謝祭や正月イベントを行う際など、ゴミが出ないリユース食器を活用している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		天然油脂由来のよもぎエキスを配合したオリジナルシャンプーや石鹸(合成香料・着色料・酸化防止剤無添加)を開発し、各旅館や公衆浴場に卸している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		「脱レジ袋」に伴い、黒川温泉オリジナル風呂敷を開発し、脱プラスチックを推奨した街めぐりの方法を提案している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		旅館から出る生ゴミ等を集め、資源を有効活用するために、たい肥を作り、コンポスト事業としてたい肥を製造・販売しており、将来はたい肥で野菜を生産し、旅館でお客様に提供することを目標としている。	1	2				6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		「故郷の自然と暮らしを守る」を黒川温泉地区街づくり協定の基本理念として、約2万本の木を植樹している。												11.6 11.7			13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		温泉の熱を利用した空調や熱交換を行うことで、少しでも燃料の使用を減らそうとエネルギーの活用をしている。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				11.5		13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		「故郷の自然と暮らしを守る」を黒川温泉地区街づくり協定の基本理念として、約2万本の木を植樹している。「入湯手形」を小国杉の間伐材から制作し、町内の森林保全に貢献している。						6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		「故郷の自然と暮らしを守る」を黒川温泉地区街づくり協定の基本理念として、約2万本の木を植樹している。1986年より景観づくりを行い、今までに2万本の植樹をしてきた。現在は、剪定作業など維持管理を行っている。							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		脱プラスチックにむけて、プラスチックを使わないアメニティ設置を推奨し、企業と商品開発を進めている。													12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		電気自動車スタンドを設置し、電気自動車の活用を推奨している。											9.4			11.2		13.1 13.3			
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		コンポストプロジェクトでは、生ごみをたい肥にすることで、生ごみの焼却量を減らし、CO2排出削減に取り組んでいる。最終的には、生ごみの焼却ゼロを目指し、生産、販売、消費のサイクルを独自経済圏で回せるよう計画している。								7.1 7.2 7.3 7.a			9.4			11.6 11.a	12.8	13			

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 黒川温泉観光旅館協同組合

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		1980年代後半、乱立していた大きく派手な各看板をすべて撤去し、デザインや色合いを統一した「共同看板」を設置することで、自然に調和した景観を守っている。			3.9							9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		各旅館で独自の物を作るのではなく、統一性のあるフォントを使用したり、各所に手すりを設けるなど、誰もが利用しやすい環境を整備している。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	熊本県と連携をとりながら県産の牛肉や食材をつかったキャンペーンを打ち出している。また地元産のあか牛を育てる「あか牛ファンド」を立ち上げ、生産能力向上に寄与している。「つぐも」というネーミングで、南小国産のあか牛を、町内で召し上がっていただく、あか牛の地産地消を推進している。								7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	黒川温泉や里山の原風景を壊さないよう、木材を積極的に使用した建物を建設している。							7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	脱プラスチックにむけて、プラスチックを使わないアメニティ設置を推奨し、企業と商品開発を進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	熊本県と連携をとりながら県産の牛肉や食材をつかったキャンペーンを打ち出している。また地元産のあか牛を育てる「あか牛ファンド」を立ち上げている。「つぐも」というネーミングで、南小国産のあか牛を、町内で召し上がっていただく、あか牛の地産地消を推進している。									8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		年に4回の景観メンテナンス活動を自発的に行っており、自然をより楽しんでもらえる環境づくりを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		年に一回、防災訓練をおこない、黒川温泉を利用するお客様に対して避難所の開設情報の提供などを行っている。				4								11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	各観光地から視察依頼があり、SDGsを含めた黒川温泉の環境の取組を説明している。2018年には黒川温泉のSDGsをまとめたコンセプトブックを作成し、関係各位に配布し、視察等で活用している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	南小国町SMOと連携し、これから黒川温泉で働く人達のインターンシップや、これから黒川温泉の担い手になるリーダー育成のための「黒川塾」を開講している。				4					8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	2021年1月に黒川温泉の「公式採用サイト」を立ち上げ、ここで黒川温泉での働き方を紹介し、各旅館に求職者の人材の紹介や仲介を行っており、県内の若者を積極的に雇用へと繋げている。				4.4					8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2	4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。